

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
分担研究報告書

北海道における受検～受診～受療に至る効果検証と質向上のための
肝炎医療コーディネーター養成のあり方

研究分担者 小川浩司 北海道大学病院 消化器内科/肝疾患相談センター

研究要旨

北海道において2017年度より合計5回の肝炎医療コーディネーター（肝炎 Co）研修会を開催し、合計651名の肝炎 Co を養成した。依然として札幌圏が428名と多かったが、全ての二次医療圏に肝炎 Co が配置された。今後保健師、肝疾患専門医療機関への配置促進が望まれる。2017-2019年度養成者の活動状況では、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、肝炎に関する知識の普及・啓蒙、肝疾患患者の相談対応、医療費助成制度の説明、服薬指導、肝炎検査陽性者の受診勧奨等がされていた。2020-2021年度はCOVID-19感染により、肝炎 Co のフォローアップに対する制限が多かったが、今後も北海道および道内3大学の拠点病院と連携し、オンラインを取り入れながら活動を継続していく。

A. 研究目的

肝炎から肝硬変、肝臓への移行を減らすためには、肝炎ウイルスによる肝病態の進展抑制が必要である。そのためには肝炎ウイルス検査の受検、受診、受療の促進が必要である。肝炎医療コーディネーター（肝炎 Co）は肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行うこととされ、2017年4月に都道府県に養成するように通知されている。

北海道においては2017年度に初めて肝炎 Co 研修会を開催し、2021年度までに合計5回の肝炎 Co 研修会を開催した。2020年度よりCOVID-19感染拡大のため、2020年度および2021年度はオンラインによる研修会を行った（図1）。本報告では北海道における肝炎 Co の現状及び問題点について報告する。

図1 北海道における肝炎医療コーディネーター研修会



B. 研究方法

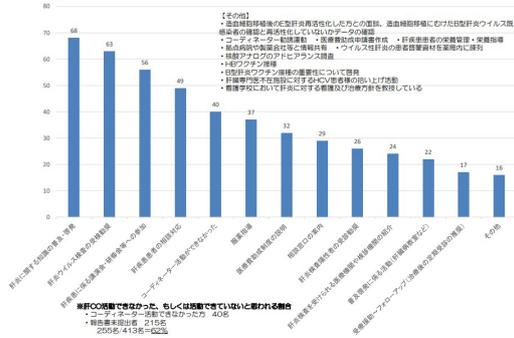
2017-2021年度の北海道における肝炎 Co の配置状況について解析した。2017-2019年度の養成者を対象とした活動調査から、肝炎 Co の活動内容について解析した。さらに、COVID-19感染下における肝炎 Co フォローアップ状況についても検討した。

C. 研究結果

肝炎 Co の養成状況

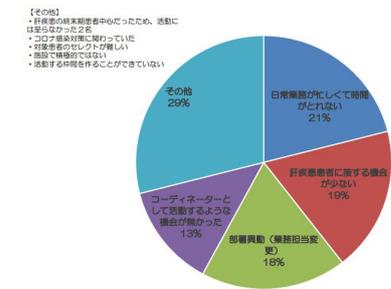
来なかった肝炎 Co も 40 名存在していた(図 5)。報告書未提出 215 名と合わせると合計 255 名(全体の 62%)の活動状況が把握できなかった。

図5 肝炎医療コーディネーターの活動状況



活動できなかった理由としては、日常業務が忙しく時間がとれない(21%)、肝疾患と関わる機会がない(19%)、部署移動(18%)、コーディネーターとして活動するような機会がなかった(13%)、などであった(図 6)。

図6 活動できなかった理由



肝炎 Co へのフォローアップ状況

北海道大学病院肝疾患相談センターは北海道、札幌医科大学附属病院肝疾患センター、旭川医科大学病院肝疾患相談支援室と連携し、肝炎 Co を対象とした講演会や研修会によるフォローアップを実施している。2020 年度以降は COVID-19 感染拡大により集合型の研修会開催は困難となり、主にラ

イブ配信やオンデマンド配信によるオンライン研修会を開催した(図 7)。

図7 肝炎医療コーディネーターへのフォローアップ研修会

| 開催日 | 開催機関 | 研修会、講演会、セミナー等の名称 | 開催方法 |
|-----------------------------|------------------|---|-------------------|
| 2020年11月 | 北海道・北大共催 | 令和年度北海道肝炎医療コーディネーターオンライン研修会 | ライブ配信 |
| 2020年10月18日～ 2020年12月28日 | 日本肝臓学会主催 旭川共催 | 肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会(動画配信) ～コーディネーターへの役割と今後の展望～ | オンデマンド配信 |
| 2020年1月28日～ 2020年3月1日 | 北大主催 | 肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会 ～肝炎医療コーディネーターの役割と今後の展望～ | オンデマンド配信 |
| 2020年7月1日～ 2020年7月2日 | 北大主催 | 肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会&医療従事者研修会 コロナ禍における肝炎患者さんの支援～アルコールの管理を巡る場合～ | ライブ配信 オンデマンド配信 |
| 2020年9月4日 | 日本肝臓学会主催 旭川共催 | 2020年度肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会 | ライブ配信 |
| 2020年10月23日 | 北海道・北大共催 | 令和2年度北海道肝炎医療コーディネーターオンライン養成研修会 | ライブ配信 |

D. 考察

北海道にて 2017 年より合計 5 回の研修会を開催し、合計 651 人の肝炎 Co を養成した。依然として札幌圏に集中しているが、21 ある二次医療圏全てに肝炎 Co が配置された。北海道は広大ではあるが、その人口は札幌を中心とする道央地区に集中している。一方、地方は肝疾患専門医療機関、肝臓専門医ともに少ない。北海道における肝炎診療の均等化は重要な課題であり、肝炎 Co の特に地方への拡充が必要である。

未診断の肝炎ウイルス陽性者を治療に結びつけるためには、自治体や非専門医における肝炎ウイルス陽性者を確実に受診、受療につなげることが重要である。北海道の自治体では 70 名の保健師が配置することが出来たが、北海道には 189 自治体が存在している。さらに、肝疾患専門医療機関も 179 施設存在し、肝炎 Co が配置されたのは 41%にとどまっている。現在、北海道では 100 - 150 人/年程度で肝炎 Co を養成している。肝炎 Co の人数を増やすことも重要ではあるが、今後は北海道と配置目標を設定し、保健師および肝疾患専門医療機関における肝炎 Co の配置を重点的に進めることが重要である。

今年度の肝炎 Co への活動状況の調査への回答は 43.3%と年々低下傾向である。各部署で様々な活動がされていたが、未報告と併せると約 60%の活動状況が把握できず、今後の課題である。さらに、養成した肝炎 Co が十分な活動を出来るように、フォローアップ研修やセミナーなどで、スキルアップ、モチベーションを維持することが重要である。2020 年からの COVID-19 感染拡大により、肝炎 Co 養成研修会はライブやオンデマンド配信となった。集合型の開催では札幌一極集中であったが、オンライン配信では地方の肝炎 Co にも配置、研修が可能である。今後はオンライン配信を活用して、継続的なフォローアップを図ることが重要と考えられた。また、北海道においても今年度から LINE が活用できるようになった。今後は、LINE を用いて積極的な情報発信を進めていく。

E. 結論

北海道においては合計 651 名の肝炎 Co を養成した。今後は保健師、肝疾患専門医療機関を中心に配置を進めていく。さらに、北海道および拠点病院と連携し、オンラインを駆使して、肝炎 Co の拡充、研修会などのフォローアップを行う予定である。

F. 健康危険情報

特記事項無し

G. 研究発表

1. 論文発表

榎本大、他。肝疾患診療連携拠点病院における肝炎医療コーディネーターの現状 肝臓 62 巻 2 号 96-98.

2. 学会発表

長谷川智子、他。北海道における肝炎医療コーディネーターの現状と活動状況 肝臓 62 巻 Suppl. 1 A238.

H. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

特記事項なし

2. 実用新案登録

特記事項なし

3. その他

特記事項なし